

令和元年度 第2回天王寺区教育会議（議事要旨）

日 時：令和2年2月25日（火）19時30分～20時40分

場 所：天王寺区役所 講堂

出席者：〔学校協議会委員〕

矢倉委員（天王寺中）、大村委員（夕陽丘中）、原委員（高津中）、米川委員（天王寺小）、荒木委員（大江小）、角谷委員（聖和小）、高添委員（五条小）、小野委員（生魂小）

〔区政会議委員（子育て・教育班）〕

植田委員、酒井委員、中谷委員、福永委員、三宅委員、山本委員

〔学校〕三木校長（大江小）、中務校長（夕陽丘中）

〔区役所〕西山区担当教育次長、吉村区教育担当部長、糸井区教育担当課長、渡邊区教育担当課長代理

傍 聴：2名

○今年度の教育に関する取組について、糸井課長より説明（写真・動画も使用）。

○委員意見及び回答

（１）学校教育の支援（学力・教育環境向上の取組）

➤中学校の部活動について

- ・先生の働き方改革が言われている中で、何かサポートはあるのか。
 - 中学校では「学校元気アップ地域本部事業」として、様々な地域の方にも学校教育に携わっていただいている。
 - 部活動指導員が入っている。日常の技術的な指導のほか、学校外での試合の引率等も行っている。来年度も予算が確保されており、教員の働き方改革の一助になると思う。
- ・部活動指導員を活用して、新しく部活動を増やしたりできるのか。
 - 現在ある部活動での指導となっている。

➤スクールカウンセラー事業について

- ・スクールカウンセラーはどのような人で、何人いるのか。
 - 臨床心理士の資格を持つ方で、天王寺区では3名のカウンセラーが相談にあたっている。
- ・相談件数と回数はどのように違うのか。また、何をもって解決改善というのか。30年度の実績だけでなく、その前年度（29年度）の実績も資料に掲載してほしい。
 - 内容ごとに1件の「相談件数」とし、1件の相談で2～3回の相談となることもあり「相談回数」となっている。
 - どんどん落ち込んでいる子が、相談することによって元気になったり維持している状態になる。相談を必要としない状態となれば解決改善と理解している。
- ・問題行動等の未然防止の効果はどうか。
 - 昼休みにカウンセリング室を開放しており、カウンセラーに相談をして元気になっている子もいる。また、学校にあった相談をカウンセラーにつなぐこともあり、未然防止に繋がっていると思う。
 - カウンセラーに講義をしてもらった。子どもだけでなく教員にとっても有効であった。

（２）社会教育関連の取組

➤グローバル人材育成事業について

- ・最近是中国から来られる方が多いが、中国語も取り組む予定はあるか。

- まずは国際共通語として英語に取り組んでいる。本事業では、様々な国の留学生にも来てもらい多文化・国際理解にも取り組んでおり、その中で他言語にも触れる。
- ・まずは日本語・日本文化をしっかりと知らないとは多文化理解はできない。
 - 学校図書館の活用など読書支援を通じて、日本の文化・海外の文化を学ぶ習慣・機会を増やしていきたい。
- ・区内の中学校では日本文化体験教室が行われ、将棋や和菓子づくり等を体験している。また、職業体験では、スーパーや美容院、銀行、消防署などへ行き、地元に着した取組が行われ、良い経験をさせてもらい、感謝している。
 - 資料には、区役所が取り組んでいる事業を紹介しているが、様々な各校独自の取組も行われている。
- ・学校で英語教育をするにあたって、どのような取組をしているのか。
 - 中学校と小学校の教員が連携して英語教育の向上に取り組んでいる。
 - 区内中学校下では、週2回中学校の英語教員が小学校に来て指導を行っている。C-NET事業によるネイティブ講師も小学校へ来てくれている。また、中学校を会場に小学生の英検にも取り組んでいる。ある小学校ではジュニア検定、別の小学校では独自の英語学習に取り組まれている。

➤天王寺区ジュニアクラブ事業について

- ・学校だけの関係と違って新たな関係が始まり、子どもにとってすごく良い経験になっている。案内が小・中学校に届いていると思うので、学校で薦めてほしい。

➤民間事業者を活用した中学生学習支援事業について

➤こどもの居場所等における学び・生活サポート事業について

- ・2つの事業が似ているように思う。別々に行っている意義は。
 - 中学生学習支援事業については、学習を中心に行っている。居場所については、勉強だけでなくしんどい子が生活相談もできる自由な場所づくりとして取り組んでいる。
 - 塾代助成事業は大阪市全体での事業のひとつ。区が場所を提供することで事業者の負担を軽減し、1万円の助成カードを使って経済状況の苦しい家庭の生徒も負担なく勉強できる。

(3) その他

➤教育の取組全体について

- ・行政が英語に力を入れているのを強く感じているが、本日の会議に参加してみて、心のことや文化のことにも力を入れているのが分かった。天王寺区は勉強だけでなく、いろいろなこともやっていることを、もっと見えるように広報して欲しい。
 - 天王寺区では、学校教育の支援を区役所だけではなく、学校と話し合って進めている。グローバル人材育成事業も民間事業者から企画提案を受け、民間事業者と一緒に工夫しながら行っている。今年度までは「日本一の文教都市」をめざして取り組んできたが、来年度は「世界に通じる文教都市」を目標として、学校や民間事業者と話し合いながら事業を進めてまいりたい。